【被服衛生学セミナー報告】

令和 7 年度　第 43 回被服衛生学セミナー

～ 有松絞りの歴史とこれから～

平岩暁子

愛知学泉大学家政学部

はじめに

第 43 回被服衛生学セミナーは、「有松絞りの歴史とこれから ～後加工の新しいモノ作り 有松が有松らしく生まれ変わるために～」をテーマとし、令和 7 年 8 月 26 日（火）、27 日（水）に、愛知県名古屋市有松地区にて開催いたしました。前部会長の熱いリクエストにより有松での絞り体験を含んだ企画としました。絞りの歴史と新しい可能性、後加工の新しいモノ作り、伝統を守りながら有松が有松らしく生まれ変わるため、地域からの発信を受け取りながら、日本の伝統工芸に対し被服衛生学ならびに家政学がどのように貢献していけるか、また広く一般の方々へ伝えることを目的としました。

セミナーの概要

セミナーは、有松・鳴海絞り会館と、久野染工場を中心に実施しました。本セミナーは（一社）日本家政学会活動助成を受けており、その趣旨に基づき 1 日目の講演 1.2 を一般公開講演として無料で公開しました。参加者は 43 名で、一般の方が 21 名、日本家政学会員が 22 名（うち被服衛生学部会員 14 名）でした。

プログラムは以下の通りです。

１） 日程

8 月 26 日（火）

11:00～　　役員会
12:00～13:00 受付　（絞り会館展示室自由見学）
13:00～13:05 開会挨拶
13:05～13:55 講演 1
「愛知の三河木綿・知多木綿の変遷と伝承」
　名古屋葵大学教授　間瀬　清美 氏
14:00～14:50 講演 2
「有松絞りの今とみらい」
　株式会社山上商店 cucuri 代表 山上 正晃 氏
「日常に寄り添う、有松絞りの新しいかたち」
　cucuri ディレクター　今井 歩 氏
14:50～15:10 休憩
15:10～16:00 講演 3
「-We are Bridge-　suzusan と世界のつながり方
　ローカルとローカルをつなぐ取組みについて」
　株式会社スズサン
　CEO/クリエイティブディレクター 村瀬 弘行氏
16:00～16:10 記念撮影
16:15～17:30
　名古屋市指定文化財・江戸末期絞商「岡家住宅」および「山車会館」、街並みの見学
　“有松あないびとの会” による解説
18:00～20:00 懇親会

8 月 27 日(水)

9:30　名鉄名古屋本線「有松」駅改札前集合
10:00～ 久野染工場 アドバイザー 久野 剛資 氏
　　アトリエ見学
　　体験 1 雪花絞り（綿手ぬぐい）
12:00～ 昼食
13:00～ 臨時総会
13:30～ 体験 2 絞りの形状記憶加工
　　(エコバッグ)
16:25～ 閉会挨拶

２） 講演会

1 日目の講演会では、愛知の繊維産業にはじまり、伝統工芸である有松絞りの歴史、伝統技術を日常のデザインに取り入れる若手職人の取り組み、さらにドイツを拠点とした絞りのグローバル展開について、非常に幅広く多角的な内容を 4 名の講師からお話をいただきました。絞りは軽やかで涼しく、立体的な形状は伸縮性を持つことから、体型を選ばす着心地の良さが特徴であることの話があり、衛生学とも繋がる内容でした。

３） 街並み見学

旧東海道沿いに位置する有松地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区、また日本遺産となっており、江戸時代の風情を大切に残している絞り産地です。有松が誇る絞り・街並み・山車の三つを、街並み案内グループ“有松あないびとの会”のメンバーによる解説で、4 グループに分かれ見学を行いました。中でも、名古屋市指定文化財になっている江戸時代末期の絞商「岡家住宅」では、かつて東海道を往来する旅人に店頭販売を行うための間口の広い主屋、奥の作業場などを見学し、当時の様子をうかがい知ることができました。

４） 体験

2 日目の体験では、久野染工場の四代目、伝統工芸士でもある久野剛資氏をアドバイザーとして、二つの技法による絞りを行いました。一つは折りたたみ、板締めして染色する伝統的な雪花絞り、もう一つはポリエステル生地をくくるなどしてヒートセットすることで、凸凹の形状での模様を生み出しました。参加者のそれぞれが創造力を発揮しながら作業を行い、個性豊かな作品に仕上げられました。

おわりに

『伝統工芸である有松絞りを残すのか、変えるのか、残すためには変化も必要である。作り手と使い手の循環を作るため、絞りを現代の暮らしや日常へいかに取り入れていけるかを考えたモノづくりをしていくこと。日常に自然に溶け込む絞りを提案する。世代間の引き継ぎが上手くでき、新しい物を作ろうという機運がもたらされた時、時代にあった絞りは地域に貢献することができる。』今回のセミナーを通し、伝統を守りながら、有松が有松らしく発展していくための地域の積極的な取り組みと発信を理解するとともに、その意義を深く受け止めることができたのではと感じています。

全国から参加して下さった方々にとっても、それぞれの地域に根付く伝統工芸について、考える契機となることを期待します。

最後になりましたが、ご参加下さいました皆様方、本セミナーの運営にご協力いただきました部会長、部会役員の皆様、実行委員の先生方に心より感謝申し上げます。

第 43 回被服衛生学セミナー実行委員
（西日本地区担当）

実行委員長：平岩 暁子（愛知学泉大学）
実行委員　：平林 由果（金城学院大学）
間瀬 清美（名古屋葵大学）
内田 有紀（金城学院大学）
今井 素惠
（一般財団法人ケケン試験認証センター
中部事業所）

＜連絡先＞
〒444-852　愛知県岡崎市舳越町上川成 28
愛知学泉大学家政学部ライフスタイル学科
平岩　暁子
TEL：0564-34-1212（代表）
E メール：hiraiwaa@gakusen.ac.jp